

◆解答◆

1

(1) $\mathcal{P}(E) = \{\Phi, \{a\}, \{b\}, \{c\}, \{a, b\}, \{b, c\}, \{a, c\}, E\}$

(2) 包含関係が成立するのは

$$\Phi \subseteq \Phi, \Phi \subseteq \{a\}, \Phi \subseteq \{b\}, \Phi \subseteq \{c\}, \Phi \subseteq \{a, b\}, \Phi \subseteq \{b, c\}, \Phi \subseteq \{a, c\}, \Phi \subseteq \{E\},$$

$$\{a\} \subseteq \{a\}, \{a\} \subseteq \{a, b\}, \{a\} \subseteq \{a, c\}, \{a\} \subseteq E,$$

$$\{b\} \subseteq \{b\}, \{b\} \subseteq \{a, b\}, \{b\} \subseteq \{b, c\}, \{b\} \subseteq E,$$

$$\{c\} \subseteq \{c\}, \{c\} \subseteq \{a, c\}, \{c\} \subseteq \{b, c\}, \{c\} \subseteq E,$$

$$\{a, b\} \subseteq \{a, b\}, \{a, b\} \subseteq E,$$

$$\{b, c\} \subseteq \{b, c\}, \{b, c\} \subseteq E,$$

$$\{a, c\} \subseteq \{a, c\}, \{a, c\} \subseteq E,$$

$$E \subseteq E.$$

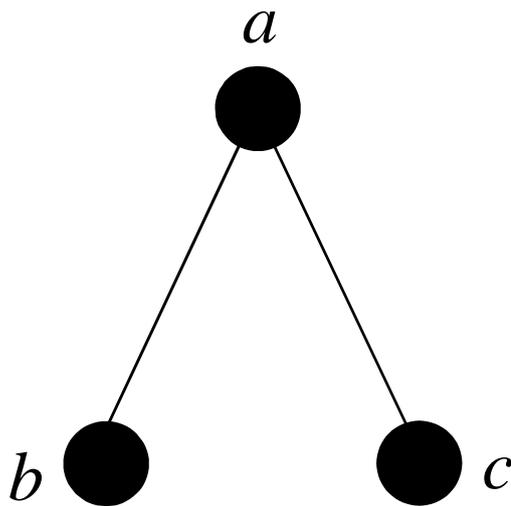
比較不可能な元は

$\{a\}$ と $\{b\}$, $\{a\}$ と $\{c\}$, $\{b\}$ と $\{c\}$, $\{a\}$ と $\{b, c\}$, $\{b\}$ と $\{a, c\}$, $\{c\}$ と $\{a, b\}$, $\{a, b\}$ と $\{b, c\}$, $\{a, b\}$ と $\{a, c\}$, $\{b, c\}$ と $\{a, c\}$.

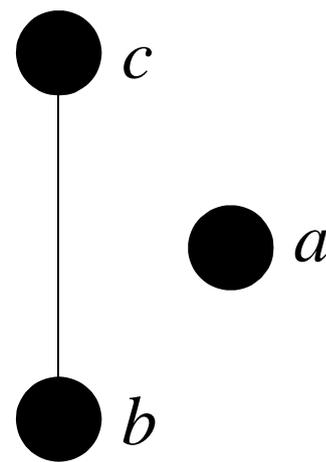
2

(1) b と c は比較不可能

(2) a と b , a と c は比較不可能. a を表わす点はどこに描いても良い.



ハッセ図(1)



ハッセ図(2)

図 1 問題 2 におけるハッセ図

3

- (1) $21 = 3 \times 7, 18 = 3^2 \times 2, 15 = 3 \times 5, 12 = 3 \times 2^2, 9 = 3^2, 6 = 3 \times 2$ を参考に,
 $1 \mid 3, 3 \mid 6, 3 \mid 9, 6 \mid 12, 3 \mid 15, 9 \mid 18, 3 \mid 21$
 $6, 9, 15, 21$ および $12, 18$ は比較できないので, 図 2 のようなハッセ図が得られる.
- (2) 極大元は $12, 15, 18, 21$. 極小元は 1 .

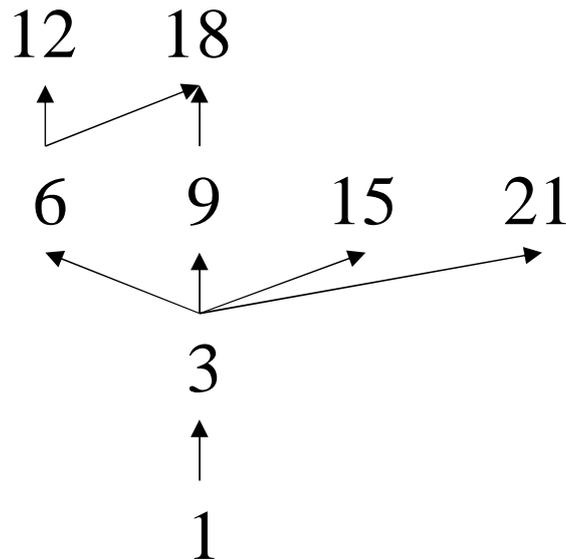


図 2 問題 3 におけるハッセ図

4

- L_1 について
 上界の集合は $\{e, f\}$ であり, 上限は $\min\{e, f\} = \{e\}$.
 下界の集合は $\{a\}$ であり, 下限は $\max\{a\} = \{a\}$
- L_2 について
 上界の集合は $\{d, e, f\}$ であり上限は $\min\{d, e, f\}$ であるが, 存在しない.
 下界の集合は $\{a\}$ であり, 下限は $\max\{a\} = \{a\}$

5

Proof. $R(a, d) \wedge R(d, c)$ であるが, $\neg R(a, c)$ であり, R は推移律をみたさない.

□

6

(1) (Proof)

$[SO_2]$ を背理法で証明するため, $x, y \in U$ の下で $R(x, y) \wedge R(y, x)$ と仮定する. $[SO_3]$ より $R(y, x)$ が成り立つが, $[SO_1]$ と矛盾する.

したがって, 題意成立. \square

(2) (Proof)

($[SO_1]$ について) $x \in U$ について $x = x$ より $x \neq x$.

($[SO_3]$ について) $x, y \in U$ の下で $x < y \wedge y < z$ とする. このとき特に, 「 $x \leq y \wedge y \leq z$ 」より $x \neq z$. $x \neq z$ を背理法で証明するため, $x = z$ と仮定すると, 「 $x \leq y \wedge y \leq x$ 」より $x = y$ となり $x < y$ に反する. したがって, $x \leq z \wedge x \neq z$. すなわち, $x < z$. \square

(3) *Proof.* $<$ が $[SO_4]$ をみたすことを示す. $x, y \in U$ とすると, \leq は全順序関係であるから, $x \leq y \vee y \leq x$ である. $x \leq y \rightarrow x = y \vee x < y, y \leq x \rightarrow y = x \vee y < x$ が成り立つので, $x < y, y < x, x = y$ のいずれかが成り立つ. \square

(4) (a) (Proof)

(反射律) $x \in U$ とする. $x = x$ より 「 $R(x, x) \vee x = x$ 」, すなわち, $R'(x, x)$ である.

(反対称律) $x, y \in U$ で $R'(x, y) \wedge R'(y, x)$ と仮定する. $R'(x, y)$ より 「 $R(x, y) \vee x = y$ 」である. ここで, $x = y$ ならば証明終わり. $R(x, y)$ ならば, $[SO_2]$ により $\neg R(y, x)$ となるが, $R'(y, x)$ より 「 $R(y, x) \vee y = x$ 」であるから, $x = y$ となる.

(推移律) $x, y, z \in U$ で $R'(x, y) \wedge R'(y, z)$ と仮定する. $R'(x, y)$ より 「 $R(x, y) \vee x = y$ 」であり, また, $R'(y, z)$ より 「 $R(y, z) \vee y = z$ 」である. ここで, $x = y \vee y = z$ が成り立つ場合は題意成立. そうでない場合, $R(x, y) \wedge R(y, z)$ であるから, $[SO_3]$ より, $R(x, z)$ となり $R'(x, z)$ となる. \square

(b) (Proof)

$x, y \in U$ とする. $[SO_4]$ より 「 $R(x, y) \vee R(y, x) \vee x = y$ 」である. $R(x, y) \vee x = y \rightarrow R'(x, y)$. そうでなければ, $R(y, x)$ であるから $R'(y, x)$. \square